



継続は力なり

令和5年11月6日
小松市立南部中学校
校長 中野 務
TEL44-2560 FAX44-8160

記憶に残る文化祭

11月に入り、山の木々が色づき始め秋の深まりを感じる季節になりました。27日の文化祭には、大変多くの保護者の皆さんにご来場いただき誠に有り難うございました。感染症の心配をしながらの開催でしたが、大きな混乱なく実施できたことを嬉しく思っています。今年は、スローガン「No colors ~応援で色づく470~」のもと、生徒会執行部を中心に、オープニングからフィナーレまで、お互いを応援し合う南中生の温かい気持ちが伝わる文化祭になりました。

合唱では、子供たちの真剣な眼差しから、力を合わせて最高の合唱をつくりたいという思いを感じ取ることができました。また、1年、2年、3年と学年が上がるにつれ、レベルアップしていく姿から、中学生の成長を感じました。何よりクラス全員が心を一つにして歌うことが、こんなにも人の心に響くものなんだと改めて感じました。ステージ発表では、様々な分野から興味深い実践の発表がありました。会場の生徒と一体となるなど、発表にも工夫が見られました。午後は、吹奏楽部が楽しい演奏会を開いてくれました。普段、行事や激励会等で脇役として盛り上げてくれる部員たちが主役となった演奏会では、皆が輝いていました。

そして、特筆すべきは、今年の文化祭では、3年生による「応援イベント」が新たに開催されたことです。当初、計画されていなかったのですが、「1、2年生に文化祭をもっと楽しんでほしい。これからは応援するよ。」という思いを伝えたいという3年生のたっけの思いで急遽実現しました。自分たちの力で文化祭をより良いものし、自分たちが学校を創っていくんだという気概を感じることができました。このように、「思い」だけで終わらず、「行動」に移していくことができたことは、南中生の成長と今後の大きな可能性を感じる機会となりました。南中生の誰もが記憶に残る文化祭になったのではないのでしょうか。

3年生はこれから受験に向けて追い込みをかけていくことになりますが、これまで積み上げてきたチーム力で乗り切ってくれると期待しています。また、2年生は、3年生からバトンを引き継ぎました。これからは自分たちが南部中を創っていく気持ちを高めていってほしいと願っています。1年生は、2年生を支えながらも、来年度に入学してくる後輩の目標になれるよう準備をして下さい。令和5年度も後半に入っています。チーム南部で頑張りましょう。



【合唱コンクールより】

○「オーロラの大地より」11/2

愛媛県出身の自然写真家の松本紀生氏をお迎えし、講演会を開催しました。1年の半分をアラスカで過ごし、自然や動物・オーロラを撮り続け、世界に発信している全国でも有名な写真家です。講演では、たった一人で極寒のアラスカで撮られた写真の迫力に圧倒されるとともに、現地での苦労話にあっという間にひきつけられました。私が最も印象に残ったのは、松本さんの初めてのアラスカ挑戦での話です。一ヶ月以上命がけで待ち続けたにもかかわらず、オーロラの写真を一枚も撮れなかったが、充実感に満ちていたという言葉です。結果よりも自分が目標に向かって努力をし続けることができたことに達成感を感じているということでした。本気で取り組んだ時にこそ、心が満たされる。決して結果だけが大事ではないことを私たちに伝えてたかったのではないのでしょうか。自分の夢を追い求め続ける一人の人間の生きざまは南中生の心にも伝わるものがあつたようです。



【自然写真家：松本紀生氏】